

2023年7月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社
 コード番号 9009 URL <https://www.keisei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・IR課長 (氏名) 浅岡 祐介
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 047-712-7100

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	72,466	21.3	7,653	138.9	13,831	132.5	10,622	142.4
2023年3月期第1四半期	59,756	15.1	3,203		5,948		4,382	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 12,511百万円 (133.4%) 2023年3月期第1四半期 5,360百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	63.43	
2023年3月期第1四半期	26.35	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	984,702	421,402	41.1
2023年3月期	965,573	410,945	40.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 405,044百万円 2023年3月期 394,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		8.50		11.50	20.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	308,800	22.4	24,800	142.5	42,200	57.7	33,300	23.7	198.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	172,411,185 株	2023年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	4,928,816 株	2023年3月期	4,928,374 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	167,482,560 株	2023年3月期1Q	166,338,510 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期決算補足説明資料は、当四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8
3. 四半期決算補足説明資料	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行し、企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられることに加え、個人消費が持ち直しているなど、緩やかに回復いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画「D1プラン」(2022～2024年度)において、「コロナ禍による低迷から成長軌道へと回帰するとともに、長期ビジョン実現に向けた経営推進体制を整備する」を中期経営目標として掲げ、諸施策を推進してまいりました。

以上の結果、営業収益は724億6千6百万円(前年同期比21.3%増)となり、営業利益は76億5千3百万円(前年同期比138.9%増)となりました。経常利益は、138億3千1百万円(前年同期比132.5%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は106億2千2百万円(前年同期比142.4%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業では、全てのお客様に、より安全・安心かつ快適にご利用いただくために、2024年春より「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し、ホームドアなどのバリアフリー設備の整備を推進していくことを公表いたしました。安全輸送確保の取り組みとして、異常時対応等のさらなる迅速化を図るため、4月よりデジタル方式の列車無線へ完全移行いたしました。また、高架橋及び駅の耐震補強工事等を進めました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、京成立石駅の仮駅舎新設工事を推進したほか、本線荒川橋梁架替事業など、各種工事を推進いたしました。

営業面では、海外旅行博への出展による訪日外国人旅客の誘致など海外プロモーションの強化を実施いたしました。また、仙台市内等において、成田空港ご利用時の速達ルートとしてのスカイライナー周知を行いました。さらに、千葉県誕生150周年を記念した鉄道5社共通の1日乗車券や各種記念乗車券の発売等を行いました。

バス事業では、高速バス路線において、ミチノテラス豊洲(ラビスタ東京ベイ)～羽田空港間で新規路線の運行を開始したほか、ゴールドenウィーク等において臨時便の運行を積極的に行うなど、需要の取り込みを図りました。一般乗合バス路線においては、本格運行に先立ち、4月より東京都心と臨海地域を結ぶ東京BRT(バス高速輸送システム)のプレ運行(二次)を開始したほか、需要の変化に応じたダイヤ改正等を実施いたしました。

タクシー事業では、帝都自動車交通株式会社において、G7広島サミット2023の開催に伴い、関係者の輸送を受注し、収益の確保に努めたほか、安全・円滑な輸送サービスを提供いたしました。

以上の結果、営業収益は432億9千万円(前年同期比29.3%増)となり、営業利益は42億3千8百万円(前年同期比396.8%増)となりました。

<流通業>

ストア業では、株式会社京成ストアにおいて、フランチャイズ契約に基づき「業務スーパー八街店」及び「業務スーパー東松戸店」を新たにオープンいたしました。また、株式会社コミュニティー京成において、「ファミリーマート業平三丁目店」、新成りテリングネット株式会社において、「セブン-イレブン浦安舞浜店」の運営を引き継ぐなど、収益の拡大に努めました。

その他流通業では、京成バラ園芸株式会社において、新エリアをオープンするなど集客に努めました。

以上の結果、営業収益は139億9千1百万円(前年同期比11.0%増)となり、営業利益は2億5千5百万円(前年同期比142.0%増)となりました。

<不動産業>

不動産賃貸業では、足立区千住河原町において賃貸住宅の建設工事に着手したほか、葛飾区金町及び船橋市本町の賃貸施設を取得いたしました。

不動産販売業では、中高層住宅「パークホームズ千葉」の全戸引き渡しを完了したほか、今年度中に引き渡し予定の中高層住宅「サングランデ千葉 都賀テラス」を全戸完売いたしました。また、柏市豊四季台の土地を取得いたしました。

以上の結果、営業収益は78億8千5百万円（前年同期比13.9%増）となり、営業利益は28億3千7百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業では、海外からの入国制限や国内の行動制限の緩和に伴い、ホテル・レストラン等の施設において回復した需要の着実な取り込みを図りました。また、京成ホテルミラマーレにおいて、京成の電車をテーマにしたコンセプトルームに、新たに開発した運転体験シミュレーターを設置し、リニューアルいたしました。さらに、京成トラベルサービス株式会社において、新京成電鉄株式会社の車両基地見学ツアーを初めて実施するなど、多様な旅行商品の企画・催行により、収益の確保に努めました。

以上の結果、営業収益は34億7千万円（前年同期比39.6%増）となりましたが、営業損失は9千1百万円（前年同期は営業損失4億3千6百万円）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事や当社グループ外から受注している各種工事を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は68億1千9百万円（前年同期比18.4%増）となり、営業利益は4億1千9百万円（前年同期比172.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比191億2千8百万円（2.0%）増の9,847億2百万円となりました。これは、現金及び預金が増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比86億7千1百万円（1.6%）増の5,632億9千9百万円となりました。これは、有利子負債が増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比104億5千6百万円（2.5%）増の4,214億2百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想については、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2023年4月28日に公表した数値を据え置いております。

今後の動向を踏まえ、連結業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,607	47,082
受取手形、売掛金及び契約資産	28,445	25,033
分譲土地建物	6,224	8,002
商品	2,246	2,453
仕掛品	168	190
原材料及び貯蔵品	4,085	4,153
その他	14,420	13,809
貸倒引当金	△36	△43
流動資産合計	90,160	100,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	321,354	320,782
機械装置及び運搬具(純額)	30,780	30,003
土地	207,127	209,444
リース資産(純額)	29,506	29,555
建設仮勘定	42,636	45,175
その他(純額)	4,168	3,960
有形固定資産合計	635,573	638,921
無形固定資産		
リース資産	1,161	1,157
その他	11,934	11,451
無形固定資産合計	13,095	12,609
投資その他の資産		
投資有価証券	202,892	209,025
長期貸付金	160	168
退職給付に係る資産	178	178
繰延税金資産	18,987	18,659
その他	4,219	4,176
貸倒引当金	△183	△183
投資その他の資産合計	226,256	232,024
固定資産合計	874,925	883,555
繰延資産	486	465
資産合計	965,573	984,702

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,723	15,913
短期借入金	55,986	66,349
コマーシャル・ペーパー	—	9,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
リース債務	4,985	4,862
未払法人税等	2,504	2,182
賞与引当金	3,954	2,860
その他	74,483	72,459
流動負債合計	182,638	193,628
固定負債		
社債	110,450	110,450
長期借入金	148,431	145,749
鉄道・運輸機構長期未払金	36,710	36,710
リース債務	19,964	20,246
繰延税金負債	2,128	2,284
退職給付に係る負債	39,784	39,756
その他	14,519	14,473
固定負債合計	371,989	369,670
負債合計	554,627	563,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	34,396	34,396
利益剰余金	335,790	344,470
自己株式	△13,641	△13,643
株主資本合計	393,350	402,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,537	3,956
退職給付に係る調整累計額	△975	△940
その他の包括利益累計額合計	1,562	3,015
非支配株主持分	16,033	16,358
純資産合計	410,945	421,402
負債純資産合計	965,573	984,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
営業収益	59,756	72,466
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	46,272	52,998
販売費及び一般管理費	10,280	11,814
営業費合計	56,553	64,812
営業利益	3,203	7,653
営業外収益		
受取利息	59	73
受取配当金	116	130
持分法による投資利益	2,604	5,926
雑収入	785	954
営業外収益合計	3,565	7,084
営業外費用		
支払利息	578	626
雑支出	242	279
営業外費用合計	820	906
経常利益	5,948	13,831
特別利益		
固定資産売却益	—	73
工事負担金等受入額	312	49
その他	16	13
特別利益合計	328	135
特別損失		
減損損失	—	165
固定資産権利変換損	—	84
固定資産除却損	31	37
固定資産圧縮損	283	33
特別損失合計	314	320
税金等調整前四半期純利益	5,962	13,646
法人税、住民税及び事業税	1,341	2,561
法人税等調整額	△89	28
法人税等合計	1,251	2,589
四半期純利益	4,710	11,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	327	433
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,382	10,622

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	4,710	11,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	573	957
退職給付に係る調整額	157	51
持分法適用会社に対する持分相当額	△80	446
その他の包括利益合計	650	1,455
四半期包括利益	5,360	12,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,993	12,076
非支配株主に係る四半期包括利益	367	435

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	33,349	12,527	5,413	2,055	5,033	1,377	59,756	—	59,756
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	142	83	1,508	430	725	800	3,690	△3,690	—
計	33,492	12,610	6,922	2,486	5,758	2,177	63,447	△3,690	59,756
セグメント利益 又は損失(△)	853	105	2,454	△436	153	94	3,225	△21	3,203

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	43,102	13,901	5,961	2,764	5,576	1,158	72,466	—	72,466
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	187	89	1,923	705	1,242	833	4,983	△4,983	—
計	43,290	13,991	7,885	3,470	6,819	1,992	77,449	△4,983	72,466
セグメント利益 又は損失(△)	4,238	255	2,837	△91	419	15	7,674	△21	7,653

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 四半期決算補足説明資料

■連結損益計算書

・移動需要の回復により、増収増益
 ・新京成電鉄株式会社連結子会社化影響 営業収益：+47億円

単位:百万円、%		2022.1Q 実績	2023.1Q 実績	増減	率
運輸業	営業収益	33,492	43,290	9,797	29.3
	営業利益	853	4,238	3,385	396.8
流通業	営業収益	12,610	13,991	1,381	11.0
	営業利益	105	255	149	142.0
不動産業	営業収益	6,922	7,885	962	13.9
	営業利益	2,454	2,837	382	15.6
レジャー・サービス業	営業収益	2,486	3,470	983	39.6
	営業利益	△436	△91	345	-
建設業	営業収益	5,758	6,819	1,061	18.4
	営業利益	153	419	265	172.8
その他の事業	営業収益	2,177	1,992	△185	△8.5
	営業利益	94	15	△79	△83.9
小計	営業収益	63,447	77,449	14,002	22.1
	営業利益	3,225	7,674	4,449	138.0
連結修正	営業収益	△3,690	△4,983	△1,292	-
	営業利益	△21	△21	0	-
連結	営業収益	59,756	72,466	12,709	21.3
	営業利益	3,203	7,653	4,449	138.9
営業外収益		3,565	7,084	3,518	98.7
営業外費用		820	906	85	10.4
経常利益		5,948	13,831	7,882	132.5
特別利益		328	135	△193	△58.8
特別損失		314	320	5	1.8
税金等調整前四半期純利益		5,962	13,646	7,684	128.9
法人税	法人税等	1,341	2,561	1,219	91.0
	同調整額	△89	28	117	-
	計	1,251	2,589	1,337	106.9
四半期純利益		4,710	11,056	6,346	134.7
非支配株主に帰属する四半期純利益		327	433	106	32.4
親会社株主に帰属する四半期純利益		4,382	10,622	6,240	142.4

営業外収益

持分法による投資利益

2,604

5,926

■主要セグメントの内訳

・運輸業

単位:百万円、%		2022.1Q 実績	2023.1Q 実績	増減	率
鉄道事業	営業収益	15,857	21,879	6,021	38.0
	営業利益	559	3,037	2,478	443.3
バス事業	営業収益	11,005	13,520	2,514	22.8
	営業利益	227	825	597	262.6
タクシー事業	営業収益	6,628	7,890	1,261	19.0
	営業利益	66	376	309	464.8
運輸業	営業収益	33,492	43,290	9,797	29.3
	営業利益	853	4,238	3,385	396.8

・流通業

単位:百万円、%		2022.1Q 実績	2023.1Q 実績	増減	率
ストア業	営業収益	8,413	9,942	1,529	18.2
	営業利益	10	111	100	958.2
百貨店業	営業収益	2,709	2,510	△199	△7.3
	営業利益	△86	△37	48	—
その他	営業収益	1,487	1,538	51	3.5
	営業利益	180	180	△0	△0.0
流通業	営業収益	12,610	13,991	1,381	11.0
	営業利益	105	255	149	142.0

・不動産業

単位:百万円、%		2022.1Q 実績	2023.1Q 実績	増減	率
賃貸業	営業収益	4,987	6,321	1,333	26.7
	営業利益	2,337	2,742	405	17.3
販売業	営業収益	744	108	△636	△85.5
	営業利益	60	△22	△83	—
管理業	営業収益	1,190	1,455	264	22.3
	営業利益	56	117	60	107.1
不動産業	営業収益	6,922	7,885	962	13.9
	営業利益	2,454	2,837	382	15.6

■鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

単位:千人、百万円、%		2022.1Q 実績	2023.1Q 実績	増減	率
輸送人員	定期	37,659	39,753	2,094	5.6
	定期外	25,608	29,493	3,885	15.2
	計	63,267	69,246	5,979	9.5
	うち成田空港発着	(2,692)	(4,762)	(2,070)	(76.9)
	うち有料特急	(612)	(1,509)	(897)	(146.6)
旅客運輸収入	定期	4,482	4,708	226	5.1
	定期外	7,405	10,620	3,215	43.4
	計	11,888	15,329	3,441	28.9
	うち成田空港発着	(2,213)	(4,999)	(2,785)	(125.8)
	うち有料特急	(555)	(1,503)	(948)	(170.9)

[参考] 2019年度との比較

単位:千人、百万円、%		2019.1Q 実績	2023.1Q 実績	増減	率
輸送人員	定期	44,792	39,753	△ 5,039	△11.2
	定期外	30,911	29,493	△ 1,418	△4.6
	計	75,703	69,246	△ 6,457	△8.5
	うち成田空港発着	(5,555)	(4,762)	(△793)	(△14.3)
	うち有料特急	(1,571)	(1,509)	(△62)	(△3.9)
旅客運輸収入	定期	5,512	4,708	△ 803	△14.6
	定期外	11,277	10,620	△ 656	△5.8
	計	16,790	15,329	△ 1,460	△8.7
	うち成田空港発着	(5,434)	(4,999)	(△435)	(△8.0)
	うち有料特急	(1,493)	(1,503)	(10)	(0.7)

(注)輸送人員:千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入:百万円未満を切り捨てて表示しております。

以上